

項目	内容
名称	セイヨウタンポポ [英]Dandelion、common dandelion、lion's tooth [学名]Taraxacum officinale Weber ex F.H. Wigg、Taraxacum dens-leonis Desf.、Taraxacum vulgare (Lam.) Schrank
概要	セイヨウタンポポは、ヨーロッパ原産の多年生草本である。葉はサラダや酒の原料茶葉として、根は生食や茹でて食用、液汁をシロップに、花は酒の原料などとして食されてきた。
法規・制度	■食薬区分 ・根、葉：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質(原材料)」に該当する。 ■海外情報 ・米国では、GRASに該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・トリテルペン (タラキセロール、タラキサステロール、タラキサステン、アルニジオール)、セスキテルペン (1,3-ヒドロキシ-12,6-オイデスマノリド) カロテノイド (タキシニン、フラボキサンチン) などを含む (101)。
分析法	-

有効性

ヒトでの評価	循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	RCT ・閉経前の女性40名 (試験群15名、平均34.7±6.7歳、アメリカ) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、ハーブ混合物 (ウコン400 mg、チョウセンアザミ400 mg、ローズマリー400 mg、オオアザミ種子400 mg、セイヨウタンポポ400 mg、チョウセンゴミシ200 mg含有) ×2回/日、月経周期で5サイクル間、摂取させたところ、卵胞期初期のホルモン (デヒドロエピアンドロステロン、アンドロステンジオン) の低下が認められた。一方、他の性ホルモンに影響は認められなかった (PMID:17684134) 。
	脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
(58) The Complete German Commission E Monographs
(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添2、別添3、一部改正について)
[\(PMID:17684134\) Cancer Epidemiol Biomarkers Prev. 2007 Aug;16\(8\):1601-9.](#)
[\(PMID:20006217\) Am J Emerg Med. 2010 Jan;28\(1\):111.e1-2.](#)
[\(PMID:16321701\) Int J Cardiol. 2006 Jan 13;106\(2\):260-1.](#)
[\(PMID:11697539\) J Pharm Pharmacol. 2001 Oct;53\(10\):1323-9.](#)
[\(PMID:23448203\) Br J Dermatol. 2013 Jul;169\(1\):227-30.](#)
(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)
(101) 健康・機能性食品の基原植物事典 中央法規
(102) 学名でひく食薬区分リスト 薬事日報社 佐竹元吉 監修